

鉄骨工事施工状況・施工結果報告書

令和 年 月 日

一般財団法人宮城県建築住宅センター様

下記建築物について、鉄骨工事施工状況・施工結果報告書を提出します。なお、この施工状況・施工結果報告書及び添付図書に記載の事項は事実と相違ありません。

報告者	建築主	住 所				
		氏 名				
作成者	工事 監理者	()級建築士(大臣・知事)登録第 号 ()級建築士事務所()登録第 号				
		住 所	TEL()-()-			
		氏 名				
工事施工者		建設業許可(特定・一般) 第 号				
		住 所	TEL()-()-			
		代表者名				
設 計 者		()級建築士(大臣・知事)登録第 号 ()級建築士事務所()登録第 号				
		住 所	TEL()-()-			
		氏 名				
第三者検査機関等 (接合部の受入検査)		受入検査機関等の名称				
		住 所	TEL()-()-			
		代表者名				
		検査員資格・氏名				
検査技術者 (溶接部以外の 受入検査)		所 属				
		住 所	TEL()-()-			
		検査員資格・氏名	資格 建築鉄骨製品検査技術者 (登録番号)			
			建築高力ボルト接合管理技術者 (登録番号)			
鉄 骨 加 工 工 場		名 称	建設業の許可()登録第 号			
		住 所	TEL()-()-			
		代表者名				
		工場種別	(S ・ H ・ M ・ R ・ J)			
		(参考)	その他()			
		溶接管理責任者	所属	氏名	資格	
		検査責任者	所属	氏名	資格	
社内 検査	社内 検査部門	所 属 部 署				
		検査員資格・氏名				
	外 注	外注検査機関名称	代表者名			
		住 所				
		検査員資格・氏名				
建築物の概要	工事名称					
	確認済証番号	年 月 日	第 号	確認建築宮城建住	号	
	建築場所					
	用途等					
	工事概要	工事種別	新築・増築・			
		構造	・S(階～ 階)・SRC(階～ 階)・他()			
		架構方式	桁行方向: ラン ・ ブレス		梁間方向: ラン ・ ブレス	
			・他()		・他()	
		階数等	地上: 階	地下: 階	PH: 階	
		軒高: m	最高高さ: m			
面積	建築面積	m ²	延べ面積	m ²		
確認済証交付後の計画変更 確認申請	変 更: 有 ・ 無					
	変更内容					
	計画変更確認	年 月 日	第 号			
番号・年月日	年 月 日	第 号				

(第二面)

構造耐力上 主要な部分 に使用した 鋼材等の種 類及び使用 重量	使用部位	鋼材の種類	使用重量			
	柱		k N			
	大梁		k N			
	小梁・間柱		k N			
	他 ()		k N			
高力ボルト の種類及び 接合方法	HTBの種類	使用する HTB の径		接合方法	締付け方法	
	トルシア型	S10T ・ 径 M		摩擦・引張	<input type="checkbox"/> トルクコントロール法	
	JIS 型	F10T ・ 径 M		摩擦・引張	<input type="checkbox"/> トルクコントロール法 <input type="checkbox"/> ナット回転法	
	溶融亜鉛メッキ	F8T ・ 径 M		摩擦	<input type="checkbox"/> ナット回転法	
	接合面の処理	$\mu=0.45$	母材	スプライス PL		
		$\mu=0.40$	母材	スプライス PL		
溶接継目の 部位・鋼材 の種類・溶 接材料及び 溶接の種類	工場 溶接	部 位	鋼 材 の 種 類	溶接材料(ワイヤ等)	溶接の種類	
		柱			突合せ・隅肉	
		ダイヤフラム			突合せ・隅肉	
		フランジ大梁			突合せ・隅肉	
		ウェブ大梁			突合せ・隅肉	
	現場 溶接	柱 - 梁				突合せ・隅肉
		柱 - 柱				突合せ・隅肉
		梁 - 梁				突合せ・隅肉
						突合せ・隅肉
						突合せ・隅肉
添付図書	<input type="checkbox"/> 鋼材及びボルト等の規格証明書 <input type="checkbox"/> ボルト類の強度試験報告書 (裏書きミルシート) <input type="checkbox"/> 高力ボルト現場軸力導入試験報告書 <input type="checkbox"/> 鋼材等の流通経路を示す書類 <input type="checkbox"/> 高力ボルト締付け検査報告書 <input type="checkbox"/> 溶接部の検査報告書(外観・超音波探傷)					
記入上の注意						
	①	鉄骨工事の概要は、設計図書と整合の上必要な事項をご記入下さい。また高力ボルトの種類等は、該当するものを○印で囲み、該当する締付け方法の□にしろしを付けて下さい。				
	②	この報告書に記載しきれない事項については、別紙にまとめて下さい。				
	③	添付図書の欄は、添付しているものについて□内にしろしを記入して下さい。				
④	添付図書の各種検査結果は、できるだけ一覧表にまとめて下さい。					

※ ミルシート、超音波探傷等の試験結果等の添付図書を工事監理者や工事施工者の控え書類で提出する場合、担当者に申し出て下さい。検査終了後に返却致します。

(第 三 面)
鉄骨加工工場及び工事現場における試験・検査等の結果報告

検査等の項目	実施した試験・検査等の方法 (実施した項目チェック)	検査等の実施年・月・日				
		社内検査		受入検査		
		鉄骨加工工場	工事施工者	工事監理者	検査機関等	
工場製作時における検査等の実施状況	鉄骨製作要領書・工作図	<input type="checkbox"/> 設計図書との整合 <input type="checkbox"/> 図書審査	・	・	・	
	溶接方法	<input type="checkbox"/> 製作要領書審査 <input type="checkbox"/> 承認試験	・	・	・	
	溶接技能者	<input type="checkbox"/> 資格証の確認 <input type="checkbox"/> 溶接条件と資格の適合 <input type="checkbox"/> 技量確認試験(実施・他工事資料参考)	・	・	・	
	使用鋼材の受入検査	<input type="checkbox"/> ミルシート確認 <input type="checkbox"/> 立会検査 <input type="checkbox"/> 鋼材判別機器 <input type="checkbox"/> 材質試験 <input type="checkbox"/> ()	・	・	・	
	使用材料・製品等の受入検査 (高力ボルト・スタッド他)	<input type="checkbox"/> ミルシート確認 <input type="checkbox"/> 製品確認 <input type="checkbox"/> 立会検査 <input type="checkbox"/> ()	・	・	・	
	現寸検査等	<input type="checkbox"/> テープ合わせ <input type="checkbox"/> 床上現寸図 <input type="checkbox"/> 工作図審査 <input type="checkbox"/> 定規・型板検査 <input type="checkbox"/> ()	・	・	・	
	切断後の鋼材材質の確認	<input type="checkbox"/> マーキング確認 <input type="checkbox"/> 切板発注指示書確認 <input type="checkbox"/> 確認試験 <input type="checkbox"/> ()	・	・	・	
組立検査	<input type="checkbox"/> 開先形状・角度 <input type="checkbox"/> ルート面・ルート間隔 <input type="checkbox"/> 肌すき・食い違い <input type="checkbox"/> 仕口部のずれ <input type="checkbox"/> 裏あて金・エンドタブ <input type="checkbox"/> スカラップ工法 <input type="checkbox"/> スカラップ形状・寸法 <input type="checkbox"/> 仮付け溶接 <input type="checkbox"/> 内ダイヤフラムの取付け	<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 溶接ゲージ <input type="checkbox"/> スケール	・	・	・	
	★以下の項目は2節目以降の組立検査時に確認する <input type="checkbox"/> 予熱の方法と管理方法の確認 <input type="checkbox"/> 予熱温度チェック <input type="checkbox"/> バス間温度、入熱量の管理方法の確認と管理の結果	<input type="checkbox"/> 製作要領書の確認 <input type="checkbox"/> 温度チョーク <input type="checkbox"/> ()	・	・	・	
	<input type="checkbox"/> ボルトの孔径 <input type="checkbox"/> 孔心・孔間隔のずれ <input type="checkbox"/> 摩擦接合面の確認	<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> ゲージ	・	・	・	
鉄骨製品の受入検査	<input type="checkbox"/> 部材の社内検査実施状況の確認	<input type="checkbox"/> 製品の社内検査報告書確認	・	・	・	
	<input type="checkbox"/> 部材表面検査 <input type="checkbox"/> 部材寸法検査 <input type="checkbox"/> 取合い部検査 <input type="checkbox"/> スタッド溶接検査 <input type="checkbox"/> 高力ボルト締め付け検査 <input type="checkbox"/> スラグ、スパッターの除去 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> ゲージ <input type="checkbox"/> スケール <input type="checkbox"/> 打撃曲げ試験	・	・	・	
	<input type="checkbox"/> 外観検査(精度・表面欠陥) <input type="checkbox"/> 超音波探傷検査(内部欠陥)	<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 溶接ゲージ <input type="checkbox"/> スケール <input type="checkbox"/> 超音波探傷試験 <input type="checkbox"/> ()	・	・	・	
溶接部の品質	<input type="checkbox"/> 溶接部の社内検査報告書の確認 社内検査を実施した者の所属・資格・氏名 ()		受入検査結果のまとめ	<input type="checkbox"/> 第三者検査機関による溶接部の受入検査報告書確認 <input type="checkbox"/> 契約書等確認、検査を実施した者の所属・資格・氏名 () <input type="checkbox"/> 工事監理者が指定した「技術者」による代行検査報告書の確認、「技術者」の所属・氏名 ()		
	1 全数検査(検査数 合格数 合格率) (不合格部の補修箇所 補修方法) 2 抜き取り検査の場合は、次の項目を記載して別に報告書を添付する。 ・検査ロットの構成方法・抜き取り方法・抜き取り率・検査数 ・不合格箇所数・検査ロットの合否判定・補修方法等			1 抜き取り検査の場合は、次の項目を記載して別に報告書を添付する。 ・検査ロットの構成方法・抜き取り方法・抜き取り率・検査数 ・不合格箇所数・検査ロットの合否判定・補修方法等 2 全数検査(検査数 合格数 合格率) (不合格部の補修箇所 補修方法)		
不具合の処置及び検査結果の考察						

現場工事時における検査等の実施状況	鉄骨工事施工要領書		<input type="checkbox"/> 設計図書との照合 <input type="checkbox"/> 図書審査	・	・	・		
	溶接方法		<input type="checkbox"/> 製作要領書審査 <input type="checkbox"/> 承認試験	・	・	・		
	溶接技能者		<input type="checkbox"/> 資格証の確認 <input type="checkbox"/> 溶接条件と資格の適合 <input type="checkbox"/> 技量確認試験(実施・他工事資料参考)	・	・	・		
	使用材料・製品の検査 (高力ボルト等)		<input type="checkbox"/> ミルシートの確認 <input type="checkbox"/> 現場軸力導入試験 <input type="checkbox"/> ()	・	・	・		
	柱脚部	<input type="checkbox"/> 柱据付け面の状況 <input type="checkbox"/> アンカボルトの据付け状況 <input type="checkbox"/> 露出型固定柱脚の施工状況 <input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> 設計図書との照合 <input type="checkbox"/> レベル <input type="checkbox"/> スケール <input type="checkbox"/> 柱脚メーカーの仕様図との照合 <input type="checkbox"/> ()	・	・	・	
		建て方	<input type="checkbox"/> 建入れ直し <input type="checkbox"/> 仮締めボルト <input type="checkbox"/> 倒壊防止措置 <input type="checkbox"/> 建て方精度 <input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> 施工要領書等との照合 <input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> スケール <input type="checkbox"/> 下げ振り	・	・	・
	ボルト工事		<input type="checkbox"/> 摩擦接合面の確認 <input type="checkbox"/> 食い違い・肌すき検査 <input type="checkbox"/> 一次締め後全数マーキング <input type="checkbox"/> 本締め検査 <input type="checkbox"/> 共回り・締め忘れ検査		<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> ゲージ <input type="checkbox"/> ()	・	・	・
		溶接工事	<input type="checkbox"/> 作業環境等 <input type="checkbox"/> 予熱の実施状況 <input type="checkbox"/> ルート間隔 <input type="checkbox"/> 食い違い・仕口部のずれ <input type="checkbox"/> エンドタブ、裏当て金の施工状況		<input type="checkbox"/> 施工要領書等との照合 <input type="checkbox"/> 温度チョーク <input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 溶接ゲージ <input type="checkbox"/> スケール	・	・	・
	<input type="checkbox"/> 溶接部の外観検査(精度・表面欠陥) <input type="checkbox"/> 超音波探傷検査 <input type="checkbox"/> ()		<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> 溶接ゲージ <input type="checkbox"/> スケール <input type="checkbox"/> 超音波探傷試験 <input type="checkbox"/> ()	・	・	・		
	<input type="checkbox"/> 合成スラブの施工状況 (スタッド、焼き抜き栓溶接等)		<input type="checkbox"/> 目視 <input type="checkbox"/> ゲージ <input type="checkbox"/> 打撃曲げ試験 <input type="checkbox"/> デッキプレート等メーカー仕様図との照合	・	・	・		
社内検査結果のまとめ	社内検査 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 省略 <input type="checkbox"/> 溶接部の社内検査報告書の確認 社内検査を実施した者の所属・資格・氏名 ()		受入検査結果のまとめ	<input type="checkbox"/> 第三者検査機関による溶接部の受入検査報告書確認 <input type="checkbox"/> 契約書等確認、検査を実施した者の所属・資格・氏名 () <input type="checkbox"/> 工事監理者が指定した「技術者」による代行検査報告書の確認、「技術者」所属・氏名 ()				
	1 全数検査(検査数 合格数 合格率) (不合格部の補修箇所 補修方法) 2 抜き取り検査の場合は、次の項目を記載して別に報告書を添付する。 ・検査ロットの構成方法・抜き取り方法・抜き取り率・検査数 ・不合格箇所数・検査ロットの合否判定・補修方法等			1 抜き取り検査の場合は、次の項目を記載して別に報告書を添付する。 ・検査ロットの構成方法・抜き取り方法・抜き取り率・検査数 ・不合格箇所数・検査ロットの合否判定・補修方法等 2 全数検査(検査数 合格数 合格率) (不合格部の補修箇所 補修方法)				
不具合の処置及び検査結果の考察								

鉄骨工事施工状況・施工結果報告書について 記載上の注意

鉄骨造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物を建築する場合、仙台市建築基準法施行細則第3条の3、及び第3条の6の規定に基づき「鉄骨工事施工状況・施工結果報告書」を提出して下さい。

鉄骨施工状況・施工結果報告書は、第一面から第三面までの書式からなっています。施工状況報告書は、その特定工程に達した時点での必要記載事項を記入し、中間検査申請時に提出して下さい。

施工結果報告書は、すべての面に必要事項を記入し完了検査申請時に提出して下さい。

現地では下記の書類に沿って施工・監理状況を確認させていただきますが下記様式に記載する内容が把握できる任意の書類であっても結構です。

なお、鉄筋、コンクリート工事を含む場合は、コンクリート工事施工状況・施工結果報告書も併せて提出して下さい。

対象建築物、報告の時期・添付図書、報告者及び作成者は、次の通りです。

1 対象建築物

- (1) 施工状況・施工結果報告書提出対象建築物 : 木造以外の地階を除く階数が3以上、かつ延べ面積が500㎡を超える建築物(国土交通大臣の認定を受けた構造方法を用いる建築物を除く。)で、建築基準法第6条第1項第1号に掲げる特殊建築物。又は、建築主事が特に必要と認めた建築物。
- (2) 施工結果報告書提出対象建築物 : 木造以外の地階を除く階数が3以上、かつ延べ面積が500㎡を超える建築物。又は、建築主事が特に必要と認めた建築物。(国土交通大臣の認定を受けた構造方法を用いる建築物を除く。)
- (3) 建設地 : 仙台市内に建設されるもの

2 報告の時期・添付図書

(1) に該当する建築物(木造以外の地階を除く階数が3以上かつ500㎡を超える法第6条第1項第1号に掲げる建築物)

① 基礎の配筋が完了した工程	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材・ボルト等の規格証明書 鋼材の流通経路を示す書類 ボルト類の強度試験報告書
② 地上2階の床スラブの配筋が完了した工程	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材・ボルト等の規格証明書 鋼材の流通経路を示す書類 ボルト類の強度試験報告書 溶接部の検査報告書(外観・超音波探傷) 高力ボルト現場軸力導入試験報告書 高力ボルト締付け検査報告書
③ 工事完了時	同上

- ※ ・鋼材及びボルト等の規格証明書は、ミルシート原本または裏書きミルシートによる。
 ・鉄筋、コンクリート工事を含む場合は、コンクリート工事施工状況・施工結果報告書も併せてご提出下さい。

(2) に該当する建築物((1)以外の木造以外の地階を除く階数が3以上かつ500㎡を超える建築物)

① 工事完了時	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材・ボルト等の規格証明書 鋼材の流通経路を示す書類 ボルト類の強度試験報告書 溶接部の検査報告書(外観・超音波探傷) 高力ボルト現場軸力導入試験報告書 高力ボルト締付け検査報告書
---------	---

- ※ ・鋼材及びボルト等の規格証明書は、ミルシート原本または裏書きミルシートによる。
 ・鉄筋、コンクリート工事を含む場合は、コンクリート工事施工状況・施工結果報告書も併せてご提出下さい。

- 3 報告者及び作成者 : 報告者は建築主です。この場合、建築主の印は省略します。
 作成者は、建築主から依頼を受けた当該建築物の工事監理者です。
 作成に当たっては構造設計担当者・工事施工者・鉄骨加工工場など関係者と十分打合せて下さい。

『各面の記載要領』

この報告書を記入するにあたり下記の事項を参考に記載して下さい。

1. 第一面

工事関係者住所・氏名 欄

建築主 : 当該建築物の建築主の住所・氏名を記入して下さい。

工事監理者 : 当該建築物の工事監理者について記入し押印して下さい。

工事施工者 : 当該建築物の工事施工者について記入して下さい。

設計者 : 当該建築物の設計者について記入して下さい。

第三者検査機関等（溶接部の受入検査）

: 工事監理者等が受入検査を実施する際、自らの検査業務を代行させるために依頼する検査会社等をさすものです。

検査技術者（溶接部以外の受入検査）

: 工事監理者等が溶接部以外の受入検査で、（社）日本鋼構造協会の建築鉄骨品質管理機構が制定した建築鉄骨製品検査技術者、高力ボルト接合管理技術者に業務を代行させた場合、記入して下さい。

鉄骨加工工場 : 工場ランクは該当する項目に○印をつけて下さい。社内検査は、実際に検査に携わる検査員の資格・氏名を記入下さい

建築物の概要 欄

工事名称、確認済証番号、建築場所、用途等及び工事概要 : 確認済証の図書と照合の上記入して下さい。

架構方式 : 該当する項目に○印をつけて下さい。該当項目以外の架構方式の場合は、（ ）に記入して下さい。

確認済証交付後の計画変更 : 構造関係で計画変更確認申請を提出した場合、その内容を記入して下さい。また、計画変更確認の番号、年月日を記入して下さい。

2. 第二面

鉄骨工事の概要 欄

構造耐力上主要な部分に使用した鋼材等の種類及び使用重量 : 柱、梁等各部材に使用する鋼材の種類を確認済証の図書又は工作図を確認し記入すると共に使用重量を記入して下さい。

高力ボルトの種類及び接合方法等

: 使用する高力ボルトの種類に○をつけ、使用するボルト径を全て記入して下さい。また、接合方法に○印をつけ、該当する締付け方法の□にするしをつけて下さい。接合面の処理方法は、母材・スプライスP Lとも具体的に記入して下さい。

溶接継目の部位・鋼材の種類・溶接材料及び溶接の種類

: 溶接に係る各部位、その鋼材の種類、溶接材料、溶接の種類を確認済証の図書・工作図等に合わせ記入してください。

変更があった場合は、安全性の確認を行い当センターと協議して下さい。

3. 第三面

鉄骨加工工場及び工事現場における試験・検査等の結果報告

鉄骨加工工場及び工事現場における試験・検査等の各項目について実施した試験・検査等についてチェックして下さい。なお、検査等の実施年月日については、社内検査及び受入検査とも本報告書提出時における最終合格年月日を記入して下さい。

工場製作時における検査等の実施状況 欄

- 鉄骨製作要領書・工作図： 鉄骨製作要領書には、下記の項目・内容が記載されていることを確認して下さい。
- ・鉄骨加工工場の概要・組織、工場製作の工程概要、使用材料、切断、加工、組立、本溶接、製品検査、製品の塗装・保管、工程の各段階で生じうる不具合と対処方法等
 - ・工作図は、設計図書に基づき鉄骨全体の配置、詳細な形状・寸法、数量、材質、溶接及び高力ボルト接合部の形状・寸法・材質、貫通孔の位置・径、仮設金物等について確認して下さい。
- 溶接方法： 使用鋼材等に対して適切な溶接方法・溶接条件、溶接材料であることを確認して下さい。
- 溶接技能者： 当該鉄骨工事の溶接施工条件（溶接姿勢、板厚など）に応じた有資格者であることを確認して下さい。工事規模や設計の要求性能の必要に応じ、技量確認試験等を行って下さい。
- 使用鋼材の受入検査： 使用材料は、建築基準法第37条及びH12告示第1446号に規定する指定材料であることを確認すると共に鋼材規格証明書と照合し確認して下さい。
- 使用材料・製品等の受入検査（高力ボルト・スタッド他）： 使用材料・製品等は、それぞれの規格に適合していることを規格証明書・検査証明書等で確認して下さい。
- 現寸検査等： 現寸検査を行った場合、実施した内容をチェックして下さい。なお、現寸検査に替わる方法による場合（ ）内にその内容を記入して下さい。
- 切断後の鋼材材質確認： 切り板に加工された鋼材の材質検査方法をチェックして下さい。
- 組立検査： 本溶接前の検査として、開先形状、ルート間隔、ルート面、部材相互の肌すき・食い違い、仕口部のずれ、開先部の清掃状況、裏当て金の取り付け状態、裏はつりの施工状態、エンドタブの種類・取付状態、内ダイアフラムの取付状態、スカラップの形状・施工状態、仮付け溶接の施工状態、スラグ・スパッターの除去、ボルトの孔径、孔心、孔間隔のずれ、孔の食い違い、孔の端あき・縁あき、摩擦接合面の状態等のうち行った項目及び検査方法について記入して下さい。
- また、溶接中の温度の管理（予熱、パス間温度、入熱量等）については、溶接作業中の管理であり受入検査として行うには困難であることから、2節目以降の組立検査時に前節分等の温度の管理状況を確認し記入して下さい。
- 鉄骨製品の受入検査： 鉄骨加工工場における製作が完了し、現場へ搬送する前に製品検査を実施する。製品検査は一般に社内検査と受入検査に分けられ、社内検査としての製品検査によって発見された不具合を是正した後、発注者（工事施工者）が受入検査を行う。
- 部材の精度： 部材の寸法・精度、取合部、スタッド溶接部等について、社内検査実施状況の確認及び受入検査で実施した項目について記入して下さい。

溶接部の品質 : 溶接部の品質に関する受入検査は、外観検査及び超音波探傷検査について行います。外観検査については、割れ、余盛り高さ、ビードの不整、アンダーカット、オーバーラップ、仕口のずれ等について行い記入して下さい。
溶接部の超音波探傷検査は、完全溶込み溶接部について行った検査率及び合格率を記入して下さい。

社内検査結果のまとめ : 溶接部に関する受入検査の一環として、鉄骨加工工場の自主検査がどのように行われたか、また、不具合部の処置はどのように行われたか等について、鉄骨加工工場が作成した「溶接部の社内検査報告書」等によって確認し記入して下さい。

受入検査結果のまとめ : 第三者検査機関等が実施した溶接部の検査報告書から溶接部の抜取検査の結果について記入して下さい。またすべての検査ロットが合格していることを確認して下さい。

不具合の処置及び検査結果の考察

: 検査結果が不合格であった場合の処置等及び全体的な施工管理に対して、工事監理者としての評価を考察し記入して下さい。

現場工事時における検査等の実施状況 欄

鉄骨工事施工要領書 : 工場製作の場合と同様に行ってください。
なお、工事現場溶接は天候条件等が品質に及ぼす影響が大きいことや、冬季の工事や使用鋼材・板厚等によっては予熱が必要となる場合があり、あらかじめ具体的な方法を検討して施工要領書に記載されていることを確認して下さい。

溶接方法 : 工場製作の場合と同様に行ってください。
上記の諸条件についても考慮して下さい。

溶接技能者 : 屋外作業のため、作業環境や作業条件の確保が難しいので、作業ステージの確保等及び当該工事に要求される溶接姿勢に溶接技能者の有する資格の内容が対応しているか確認して下さい。

使用材料・製品の検査 (高力ボルト等) : 工場製作の場合と同様に行ってください。
なお、さらにボルト径ごとやメーカーごとに現場軸力導入試験を行い、使用する高力ボルトセットの品質が変質していないことを確認してください。

柱脚部 : 柱据付面の状況、アンカーボルトの据付状況(径・長さ取付位置等)、露出固定型柱脚の施工状況(メーカーのチェックシート等による確認)等について確認して下さい。

建て方 : 建て方検査は、建入れ直しの状況、仮締めボルトの位置・本数等、倒壊防止措置等について確認を行ってください。建て方精度は、建入れ直し後に確認して下さい。

ボルト工事 : 締付けに先立ち、摩擦接合面、ボルト径・孔の食い違い・肌すき等を確認し、一次締付け後に全数のマーキングを行った上で本締めを行ってください。本締め検査は、トルシア形高力ボルトの場合にピンテールの破断とマークのずれ等により、また J I S 形六角高力ボルトの場合にトルクレンチによる締め付けトルクの確認及びマークのずれにより締付け状態及び共回りの有無を確認して下さい。

溶接工事

： 溶接作業条件、溶接条件、天候管理、溶接順序、予熱、パス間温度、入熱量などについては、溶接管理技術者等が管理し、工事施工者、工事監理者が確認して下さい。

溶接工事に先立ち組立て検査を行いますが、開先形状その他の組立て検査等は、工場製作における組立て検査の場合と同様に行って下さい。この場合に開先面と近傍には、溶接に有害でない錆止めの措置がなされていることを確認して下さい。また、超音波探傷作業に支障があるため、溶接部から15～40cm（板厚によって異なる）程度は、塗装されていないことを確認して下さい。

溶接部の外観検査及び超音波探傷検査については、工場製作における溶接部の受入検査と同様に行って下さい。

ただし、工事現場溶接工事の場合、工程・工期や溶接作業の進め方等の関係から自主検査が省略され、受入検査のみが実施されるケースが多いため、原則として全数検査を行って下さい。

不具合の処置及び検査結果の考察

： 検査の結果が不合格であった場合の処置等及び全体的な施工管理状況について、工事監理者として評価・考察し記入して下さい。